

SBSルーム（誰一人取り残されないための居場所）について

1.目的

板橋区の施策である生涯学習の柱「誰一人取り残されないための居場所づくり」として、教室に入ることができない、集団の中に居続けることが辛い生徒にとって教室や家庭以外で社会との関わりを持つ第一歩を踏み出すことができる。SBSとは生徒向けにはStep By Step（一歩ずつ・少しずつ）の意味であるとし、教員サイドではStand By Student（生徒に寄り添って）の意味として捉える。教員は、「何もさせない勇気」「教室復帰の圧をかけない気遣い」を共有する。

2.場所

SBSルーム（大、小）、PC室、図書室、武道場

※火・木はSTEP UP 教室が隣で行っているため、配慮する。SBS利用人数が多い場合は、PC室や図書室の利用することもある。運動で武道場を利用することもある。

3.日程・時間

月・火・水・木・金 時間は校内時程に準ずる

※行事、定期考査、長期休業中も開室予定。開室できないこともある。スタッフと要相談。

4.指導体制

地域ボランティア（保護者、児童館職員等）、学習支援員、SCで運営。

5.活動に関して

自分のペースで自分の課題に合った活動ができる場所です。

例）オンライン授業、自習、読書、相談、クールダウン、気分転換（会話、コミュニケーションゲーム）

※ 教員はSBSでオンライン授業を受ける生徒用に、授業前に授業プリントを配布棚上のSBS用プリントBOXに入れる。

6.SBSルームの使用の際のルール(SBSルーム内掲示用)

（１）安心・安全なSBSルームにする。

①SBS利用時、退出時は毎回必ず担任・学年教員（不在時は他学年教員）に伝える。

- ・新規利用時は、担任 → SBS担当・管理職に事前に伝える。
- ・SBS利用前・退出前にSBS内にある自分のQRコードをバーコードリーダーで読み込む。教員はSBS入退室状況のスプレッドシートで随時状況を確認できる。
- ・退出時は、スタッフの方にも退出の旨を伝え、退出する。（例：教室の授業を受けてきます、トイレに行ってきます等）

②ピージェントルの校則を守って過ごす。あじみこし（あいさつ、時間、身だしなみ、姿勢）、不必要なものは持ち込まない。

③SBSに置いてあるボードゲーム等はスタッフに相談してから使用する。

（２）みんなが使いやすいSBSルームにする。

①オンライン授業や動画を見る際は周囲に気を遣い、音量に気をつけるか、イヤホンをつけて視聴する。

②声の大きさに気をつける。

③他の人の迷惑になる行動・周囲が嫌な気持ちになる発言がないように心掛けること。

④リュック・カバンは床かイスに置く。